

## BIOS 出荷時設定

本製品の BIOS 設定は、出荷時に本紙の通り設定しています。BIOS 設定が必要な場合は、本製品の電源投入直後にキーボードの [Delete] キーを押してください。OS を再インストールする場合は（リカバリーを含む）、本書の通り設定してから行ってください。



### A) BIOS 設定画面を表示します。

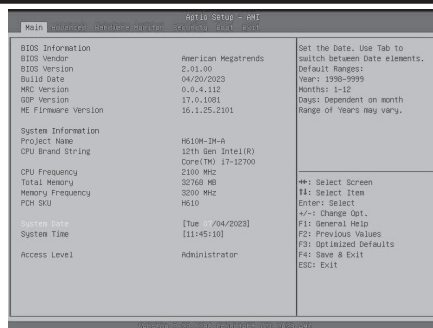
電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを数回押します。BIOS 設定画面（Aptio Setup - AMI）が表示されるまでそのまま待ちます。



#### ご注意

キーを押すタイミングによっては BIOS 設定画面が表示されない場合があります。OS が起動した場合は OS から再起動し、BIOS 設定画面表示を試みてください。

BIOS 設定のメイン画面（「Main」タブ）が表示されます。以降いくつかの項目を設定します。キーボードを使い設定します。



### ご注意

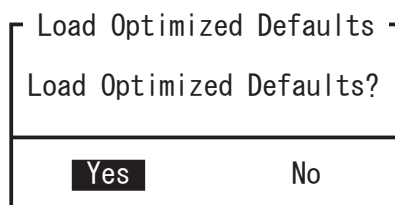
BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けない場合があります。これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

## B) BIOS 設定を初期設定に戻します。

BIOS 設定画面が表示されましたら [→] キーで「Exit」タブに移動します。

次に [↓] キーで「Restore Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Load Optimized Defaults?」と表示されますので「Yes」を選択後 [Enter] キーを押します。BIOS 設定が初期設定に戻ります。



## C) 工場出荷時に再設定します。

各項目を手動設定します。本書は手動設定が必要な項目のみを記載しています。先頭に ▶印のある項目は [Enter] キーを押すことにより、詳細項目が表示されることを表しています。また反転文字の箇所は手動設定が必要な項目です。また、反転文字の記載値が工場出荷時の値です。

### 【操作方法】

- ・ [←] [→] [↑] [↓] キーで項目移動。
- ・ 日付や時間設定は、[Tab] キーで年月日や時分秒の各項を移動。  
数字キーで直接入力も可能。[+] [-] キーで増減変更。
- ・ 設定変更項目へ移動後、[Enter] キーを押すと選択メニューが表示。  
[↑] [↓] キーで選択後 [Enter] キーで確定。
- ・ [Esc] キーを押すと一つ前の選択メニューが表示。  
大項目で [Esc] キーを押すと、セーブメッセージを表示。

### 【Main】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
BIOS Information					
BIOS Vendor	American Megatrends				
BIOS Version	X.X				※ 1
Build Date	MM/DD/YYYY				
.					
.					
.					
Project Name	H610M-IM-A				
.					
.					
.					
Total Memory	XXXX MB				※ 2
.					
.					
.					
System Date	【本日の日付】				
System Time	【現在の時刻】				

※ 1: BIOS のバージョンにより表記が異なる場合があります。

※ 2: カスタム仕様により、Total Memory 値が異なります。



### ご注意

カスタム仕様により、以降のページにおいて表示されない項目があったり、記載のない項目が追加表示される場合があります。

## 【Advanced &gt; APM Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
ErP Ready			[Disabled]		
Restore AC Power Loss			[S5 State]		※ 3
Power On By PCIE			[Disabled]		※ 4
Power On By PS2			[Disabled]		
Power On By Ring			[Disabled]		
Power On By RTC			[Disabled]		

## ※ 3: 電源投入方法の設定

- [S5 State] 前面の電源スイッチで電源投入します。
- [S0 State] 背面の電源スイッチが ON（入）の状態ですべての電源がオフ（切）の状態から復旧した際などに自動的に電源投入されます。

## ※ 4: Wake On LAN の設定

- [Enabled] にすることによって、Wake On LAN の機能を使用することができます。



## ご注意

電源投入方法の設定を変更しても即座に反映されません。設定変更後は必ず、OS から正しいシャットダウンを行ってください。以降、変更した電源投入方法が機能します。

## 【Advanced &gt; CPU Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
CPU Configuration					
Type	12th Gen Intel ( R ) Core ( TM ) i7-12700				
ID	0x*****				
Efficient-core Information					
. . .					
L3 Cache	xxMB				
VMX	Supported				
SMX/TXT					
Intel ( VMX ) Virtualization Technology					
Hyper-Threading					
Intel Trusted Execution Technology					
VT-d					
▶ CPU - Power Management Control					
CPU - Power Management Control					
Intel ( R ) SpeedStep ( tm )	[Enabled]				※ 6
Intel ( R ) Speed Shift Technology	[Enabled]				※ 6
Turbo Mode	[Enabled]				※ 6
C-States	[Disabled]				
Power Limit 1 Override	[Disabled]				
Power Limit 2 Override	[Enabled]				
Power Limit 2	0				

※ 5: カスタム仕様により表示が異なります。

※ 6: LC-6EA10 シリーズのみ、以下の設定を [Disabled] に設定します。

Intel ( R ) SpeedStep ( tm )

Intel ( R ) Speed Shift Technology

その際、設定「Turbo Mode」は非表示になります。



### ご注意

• CPU 機能の制限により、表示されない項目があったり、ここに記載のない項目が追加表示される場合があります。

## 【Advanced &gt; PCI Express Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
WARNING: Setting wrong values below sections may cause system to malfunction.					
▶PCIEx16(G5) Slot					
System Agent (SA) Configuration					
PCIEx16(G5) Slot	[Enabled]				
L1 Substates	[L1.1 & L1.2]				
PCIe Speed	[Auto]		※ 7		
Detect Timeout	0				
Detect Non-Compliance Device	[Disabled]				
▶PCIEx4(G3) Slot					
PCH-I/O Configuration					
PCIEx4(G3) Slot	[Enabled]				
L1 Substates	[L1.1 & L1.2]				
PCIe Speed	[Auto]		※ 8		
Detect Timeout	0				
Detect Non-Compliance Device	[Disabled]				

※ 7: PCI Express 5.0 x16 スロットの設定

※ 8: PCI Express 3.0 x1 スロットの設定 (PCI Express x4 のスロット形状です。)

PCI Express スロットへ接続した拡張ボードとの、整合性や調整を行うことができる主な項目です。拡張ボードが動作異常を繰り返すようでしたら、拡張

ボードに合わせて設定ください。「PCIe Speed」項は、拡張ボードに合わせた1レーン当たりの最大転送レートを設定する項目です。

- [Auto] 以下の転送レートから自動設定します。
- [Gen1] 2.5GT/s を上限に設定します。
- [Gen2] 5.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen3] 8.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen4] 16.0GT/s を上限に設定します。
- [Gen5] 32.0GT/s を上限に設定します。

## 【Advanced &gt; SATA Configuration】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
SATA Configuration					
SATA Controller(s)		[Enabled]			
SATA Mode Selection		[AHCI]			
SATA6G_1		HDD/SSD Model Name (XXXX.XGB)			
SATA6G_1		[Enabled]			
SATA6G_2		DVD Model Name			
SATA6G_2		[Enabled]			
SATA6G_3		Empty		※ 9	
SATA6G_3		[Enabled]			
SATA6G_4		Empty			
SATA6G_4		[Enabled]			

※ 9: SATAドライブが接続されていない場合は [Empty] と表示されます。

**ご注意**

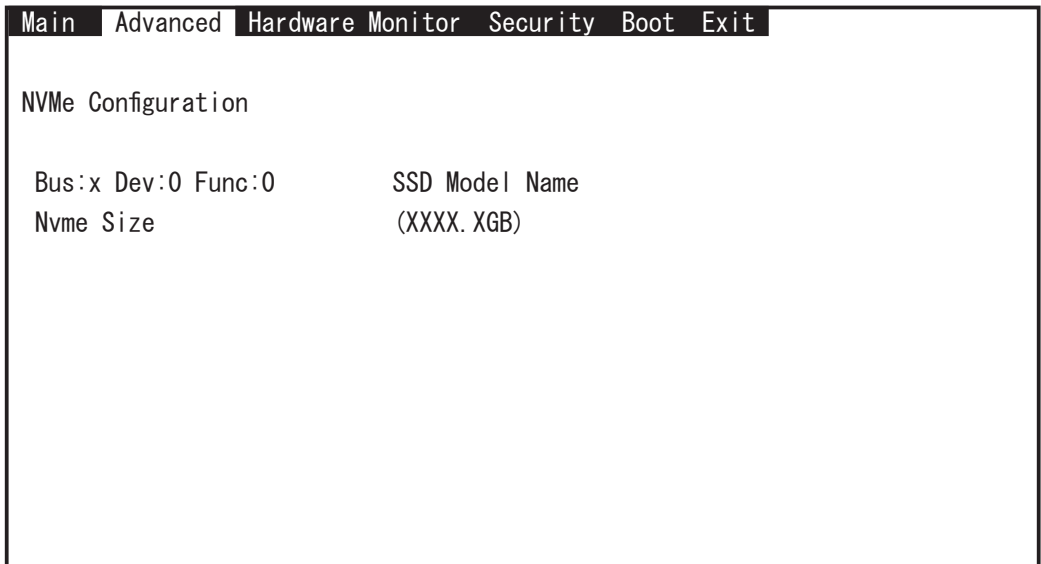
(M.2 SSD RAID を除く) 「M.2 SSD」は SATA ポートに接続していないため、**【SATA Configuration】**メニューには表示されません。



## 【Advanced &gt; NVMe Configuration】メニュー

M.2 M-Key PCI Express 3.0 x4 スロットに M.2 SSD を装着している場合、NVMe Configuration にて接続状態を確認できます。

接続されている場合 : SSD Model Name  
(XXXX. XGB)  
接続されていない場合 : No NVME Device Found



## 【Boot】メニューの設定

Main	Advanced	Hardware Monitor	Security	Boot	Exit
Boot Configuration					
CHASSIS INTRUDE				[Disabled]	
Setup Prompt Timeout				1	
Post Time Delay				0	
Bootup NumLock State				[On]	
Quiet Boot				[Enabled]	
Fast Boot				[Disabled]	
FIXED BOOT ORDER Priorities					
Boot Option #1				[CD/DVD]	※ 10
Boot Option #2				[HardDisk:Windows BootManager (P*:HDD/SSD Model Name)]	
Boot Option #3				[USB Device]	
Boot Option #4				[xxxx xxxx]	
Boot Option #5				[xxxx xxxx]	
▶ UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities					
UEFI Hard Disk Drive BBS Priorities					
Boot Option #1				[Windows Boot Manager (P*:HDD/SSD Model Name)]	※ 11

※ 10: 起動ドライブの優先順位を設定します。  
OSの再インストール時にUSB接続の外付けDVDドライブを使用する際には「Boot Option #1」項を「USB Device」に設定してください。

※ 11: ※ 10の選択肢に「Hard Disk: Windows Boot Manager」が表示されない場合には、本項を設定してから※ 10を設定してください。  
「Boot Option #1」項を  
[Windows Boot Manager (P\*:HDD/SSD Model Name)]に設定します。



### ご注意

---

- ・ USB 接続の外付け DVDドライブに UEFI 対応 DISC がセットされている状態であれば行頭に「USB Device:UEFI」が付記されます。内蔵の光学ドライブの代わりにご使用いただけます。
  - ・ カスタム仕様により、設定（優先順位）が異なります。
- 

## D) 設定変更を保存して終了します。

設定終了後、再び「Exit」タブを選択します。

「Save Changes and Reset」を選択し、[Enter] キーを押します。

「Save configuration and reset?」と表示されますので「Yes」を選択して[Enter] キーを押します。

設定内容が保存され再起動します。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
<input checked="" type="button" value="Yes"/>	<input type="button" value="No"/>



### ご注意

---

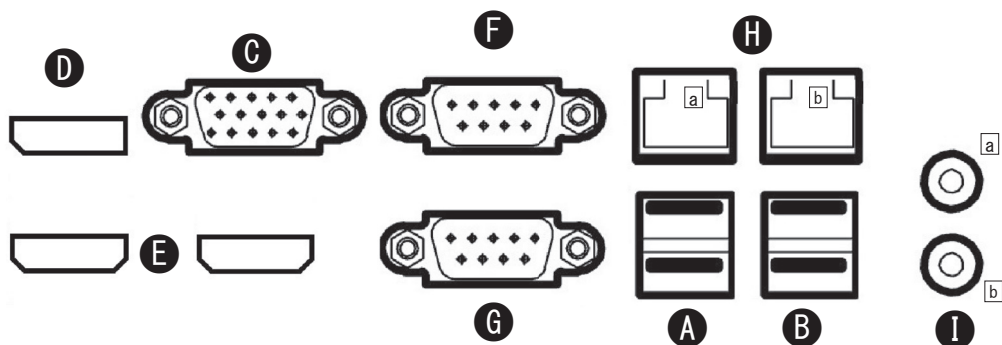
「Discard Changes and Exit」や「Discard Changes」を選択実行すると、設定内容が保存されません。

---

## ユーザーズマニュアル補足

## A10 シリーズ

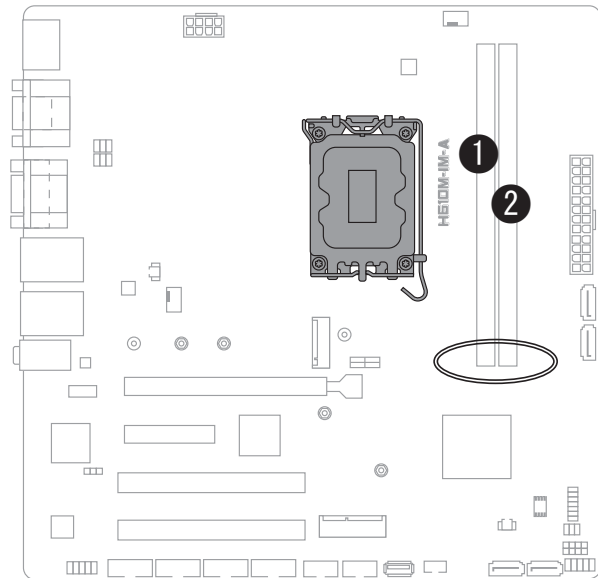
## 1. 製品背面側のコネクタ



- A: USB 10Gbps (USB3.2 Gen2) Type-A × 2  
USB 10Gbps (USB3.2 Gen2) に対応した USB ポートです。  
USB 機器を接続できます。
- B: USB 5Gbps (USB3.2 Gen1) Type-A × 2  
USB 5Gbps (USB3.2 Gen1) に対応した USB ポートです。  
USB 機器を接続できます。
- C: アナログ VGA                      VGA モニターを接続できます。                      \*1
- D: DisplayPort (1.4a)                  DisplayPort モニターを接続できます。                      \*1
- E: HDMI (2.1) × 2                      HDMI モニターを接続できます。                      \*1
- F: シリアルポート (COM1)              シリアル (COM) の機器を接続できます。
- G: シリアルポート (COM2)              シリアル (COM) の機器を接続できます。
- H: LAN (10/100/1000 Mbps) × 2  
• a : Intel(R) I219-V                      • b : Realtek(R) RTL8111H
- I: オーディオ機器を接続できます。  
• a : Line Out                              • b : Mic In

\*1: 同時使用は上限 3 ポートまで可能です。

## 2. メモリーモジュールの増設



### ■メモリーモジュールの取り付け方法

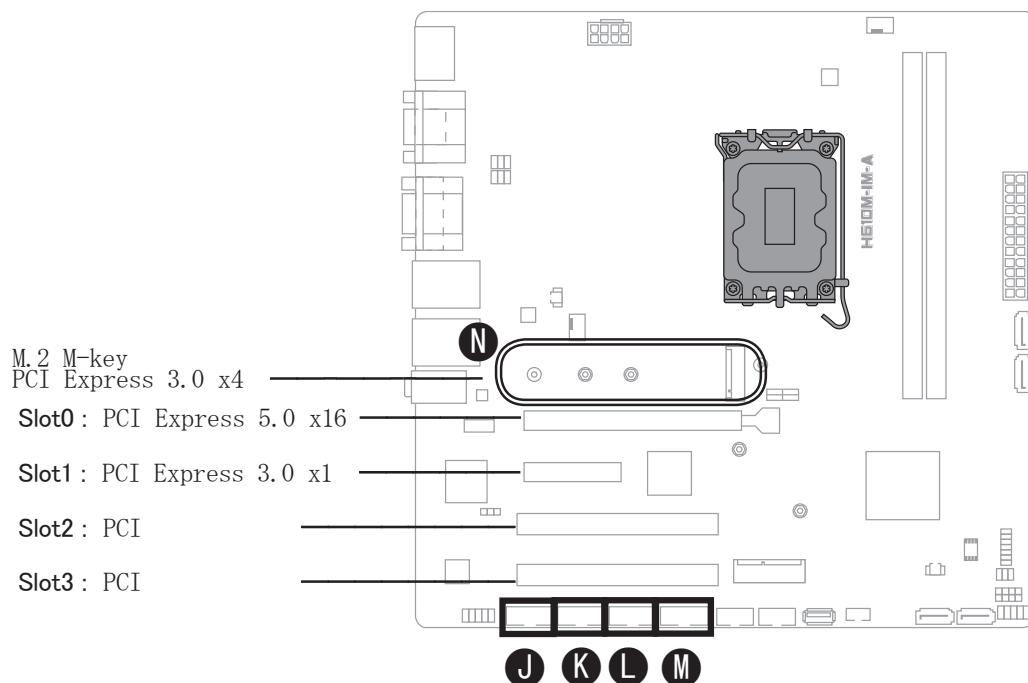
- 1) 1枚だけの場合は①に装着します。
- 2) 2枚同容量の場合は①と②に装着します。
- 3) 容量が異なる場合は、「①、②」の順に、容量の多いメモリーモジュールを装着します。



### ご注意

- メモリーモジュールには取り付け向きがあります。スロットの切り欠きに合わせて取り付けます。
- メモリースロットの片側のレバー (PCI Express スロットに近い側 ○部) は固定されています。
- より良い性能を発揮するために、同容量2枚単位での装着 (Dual Channel) を推奨します。

### 3. 内部のシリアル (COM) ポートコネクタ と 拡張スロット



- J: シリアルポート (COM3)
- K: シリアルポート (COM4)
- L: シリアルポート (COM5)
- M: シリアルポート (COM6)

シリアル (COM) ポート (RS-232) ケーブルを接続できます。  
いずれも、カスタム仕様によっては使用済みです。

- N: 電池 リチウム電池 (一次電池) が装着済みです。



#### ご注意

- M.2 M-key PCI Express 3.0 x4 スロットは、M.2 PCIe(NVMe) 対応 SSD のみ使用できます。搭載可能サイズは 2280 です。
- (M.2 SSD RAID を除く) M.2 SSD ヘリカバリーする場合は光学ドライブを除く、全ての SATA 接続機器を外してください。
- J、K、L、M の各ポートコネクタは、同じ形状、同じ機能です。
- 外部シリアル (COM) ポートケーブル (オプション) 搭載時には拡張スロットを使用します。使用スロット数は、カスタム仕様により異なります。

# より快適にお使いいただくために

## 1) メモリーモジュールの転送速度

1-1) 搭載 CPU や装着しているメモリーモジュールの構成によって、データ転送速度が変わる場合があります。

1-2) 本製品は、上位または下位のデータ転送速度に対応したメモリーモジュールを装着することができます。

DDR4-3200/2933 SDRAM DIMM (Unbuffered / Non-ECC / Non-registered)

## 2) LAN ポート

### 2-1) LAN ポートの順番

Windows の場合、2 つの LAN ポートが「イーサネット」、「イーサネット 2」のように表示されます。カスタム仕様により、LAN ポートの表示名が変わる場合があります。



### 2-2) Wake On LAN

Wake On LAN 機能を使用する場合、BIOS 設定が必要です。設定箇所は、BIOS-4 ページの APM Configuration の設定をご参照ください。

Windows のシステム設定で高速スタートアップを無効に設定します。

設定後、Windows を正しくシャットダウンすることで準備が整います。

設定後に主電源 (AC 電源) を切断した場合は、Wake On LAN の機能が解除されます。解除後であっても、Windows を正しくシャットダウンすることで、再び準備が整います。

